

さくら1

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	4	
理念に基づく運営	1 理念の共有	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初から地域との交流を持ち地域にとけ込めるような施設にしたいとの思いで作った理念である。	0	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関、事務所に掲示しているのはもちろんのこと、業務に入る前に毎朝唱和し、理念に基づいて介護に当たっている。	0	
	3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域の中にとけ込むように行事（お祭り、保育園の生活発表会、地域芋掘り）など、多数の案内状をいただき参加させてもらっている。又、さくら便りは2ヶ月に1回、家族及び推進会議のメンバー、消防署、交番、保育園に入居者自らが持参し交流をいただいている。	0		
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	1	
	2 地域との支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	一般家庭の作りになっており玄関も開放しており、近隣の方々とは日々挨拶を交わしており尋ねて下さる方も多い。気軽に立ち寄りいただき野菜などいただいている。	0	
5 外部評価3		地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りなどの行事やお宮の掃除活動には参加して地域の方々と交流を図っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方々に入居者の方で参加できる地域活動はないか働きかけている。職員と入居者でお宮の掃除を行なっている。	1	地域の老人クラブの方々とお宮掃除などの地域活動を一緒に行なっていくよう働きかけていく。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は意義を理解している。又、全体会議などでも意義を伝えている。昨年の外部評価結果を全員に配り検討話し合いをした。	1	評価結果を全職員に配布、全体会議の中で検討していく。改善があれば取り組んでいく。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	制度発足と同時に2ヵ月おきの会議を開催している。ホーム内での一日の活動及び行事等の報告の中で地域で活動できる情報をいただいて参加、又、家族の方から意見を出していただき質の向上に努めている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	外部評価結果報告書を窓口まで持参している。更新認定調査の届出も窓口まで持参、その都度対応や指導を受けている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修には参加している。成年後見制度については契約時や家族会の時に、パンフレットを渡し説明を行なっている。年2回勉強会を開いている。	1	制度の利用がスムーズに出来る様に(運ぶように)取り組んでいく。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について内外の研修や勉強会に参加している。又、高齢者や認知症についても勉強会や研修に参加し、虐待を防いでいる。	1	今後も虐待はしない、させないを徹底していく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族に契約時「入居契約書」「重要事項説明書」の内容を読み上げながら説明を行なっている中で疑問点を尋ね疑問があればその都度説明し、理解納得をしてもらっている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、不満、苦情がある時はその都度聞き、家族と話し合い運営反映に努めている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	常に連携を取ってその都度家族の方に説明報告している。健康状態については、必要時電話報告している。金銭管理は面会時に出納帳にサインをもらっている。職員の異動については、面会時、さくらだより、推進会議などで報告している。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には声かけをし家族が気軽に話しかけてこられる雰囲気を作っている。話の中で「何かあれば」と家族が意見、不満、苦情などを職員に話せるように日頃からコミュニケーションを取っている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体スタッフ会議にて意見や提案を聞く機会を設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況に応じたローテーションを組み柔軟な対応ができるように努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 る理 た念 めを の実 践 制 す	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	精神安定を図るため、異動はなく固定勤務にしている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	0
	5 人材の 育成と 支援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員募集、採用に対して年齢、性別については排除はしていないが、福祉に対してどのような思いを持っているのか、高齢者に対するの対応最低限は必要なホームの理念に適しているかを判断している。現在の職員に対しても個人の能力を把握し最大限出されるように努め社会参加、自己実現は勤務希望前もって聞き急の時は調整している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権擁護尊重などの研修は職員も参加し勉強している。又、朝の申し送りや日々の現場での対応についても必ず利用者の人権を尊重する言葉かけの支援をするよう説明している。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市町村主催、グループホーム協議会、朝倉介護保険事業者協議会などの研修し段階的に分け報告書を作成し職員の質の向上を図っている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会、朝倉介護保険事業者協議会に所属し、研修会に参加することで交流を持ち日常的な情報交換を図り連携を深めて当ホームに良いことは積極的に取り入れて行くように取り組んでいる。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	慰安旅行、忘年会、食事会、歓送迎会などに参加し交流を持つことで、悩みなども相談でき、ストレス軽減を図っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修は積極的に参加し、勤務体制に無理が生じないよう努めている。ホームヘルパーや介護福祉士、介護支援専門員などの資格取得も勧め、支援していくように働きかけている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1 相 談 か ら 利 用 に 至 る ま で の 関 係 づ く り と そ の 対 応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前、家族と一緒に何度か訪問していただき、入りやすい雰囲気を作り入居者及び職員との交流を深め、一緒に過ごす時間を作り、本人の意見などを聞くように努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族のいろいろな不安や介護疲れ、家族が困っている事を聞き助言をし援助する事によって家族とのコミュニケーションを取り、信頼関係を築く様に努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族は入居されることによる不安と心配に対しホームで過ごす日課、職員の対応に対して説明をする事で不安を取り除き、又、本人は寂しさや不安がある為居心地のいい環境を作り安心する言葉使いで全員が接している。	0	
		28 外 部 評 価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前、家族と一緒に何度か訪問していただき、入りやすい雰囲気を作り入居者及び職員との交流を深め、一緒に過ごす時間を徐々に長くしていただき拒否される事なく入居される運びを取っている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価6項目・外部評価1項目	0	
係り と こ れ ま で の 支 援	29 外 部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩という事を職員は常に忘れずその人の過ごされた人生観を重んじ、ご本人の出来る事を褒めることで食事作り、買物、掃除などを一緒にするように努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族面会時に本人の健康状態、ホームでの日常生活など報告し日頃の事を知っていただく働きかけをし、又、行事、レクレーション等参加していただき、一緒に手伝ってもらう事で気楽に会話がなされ家族、職員の協力体制を図っている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人、家族は介護に対しお互いに混乱、混迷している事を理解し家族に対し認知症を理解していただけるように助言をし本人の置かれている状況をわかっていただきより良い関係作りに努めている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が今まで慣れ親しんできた家族、友人、知人などの力を借り、電話、面会などを支援していただいている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係はその日により変わっていく事が多々あるが変化する事を見過ごさず心地よい場所を作り一人ひとり合った会話を持ち利用者同士の支えあう声かけ作りをしている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	亡くなられ退去された家族などこちらから時折電話をかけたたり、又、今の状況をかけてこられる。継続的關係が続いている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	1	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価3項目・外部評価1項目	0	
1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		おひとりお一人の思いや希望、意向の把握に努めているが、それぞれ身体機能の制限などがあり、その方に出来る所まで一緒に行動を共にして本人本位に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の様子など家族より聞き取り、又、ホーム内にて日々生活している会話の中から得ている。それをケアプランに生かしている	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの一日の生活の過ごし方を24時間職員が見守り、できる事、できない事を把握している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月2回ミーティングを行ない家族に説明、意向を伺い、本人が安心できる事を忘れずケアプランのチェックをし、職員の意見や気づきなど情報収集をし、利用者本位の介護計画を作成している。	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは1~6ヶ月で行なっているが対応できない変化を生じた場合、本人、家族、主治医と話し合いただちに職員の意見を入れ、新しく作成し直している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画に基づき介護記録をし、職員同士の情報交換を行ない、気づきや結果などを共有し、介護計画を見直している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族状況により支援がない時など説明を行ないその時の要望に応じている。特別病院等の診察及び送迎、介護不安がある場合は、遅くまで残り支援体制を取っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	1	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議などで交流を持ち、支援援助等受けている。又、ボランティアなども月1回受け入れている。交番などホームの存在を知ってもらっている。消防署などは救急、消防訓練など支援を受けている。	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の他のケアマネやサービス事業所との話し合いでは良い介護に結びつく意見は出るが他のサービスを利用した事がない為わからない。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加され、本人などの意向を伝え、又、家族より介護に対しての意見を率直に話されていること位で協働は行っていない。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望があれば以前からのかかりつけ医で受診していただいている。又、こちらからの報告などを行っていて通院は、事業所、家族とが行ない結果は互いに報告している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医より診察を勧められたときに専門医の診察を受けるようにしている。現時点では実施していない。	1	ホームのほうへ往診などを取り入れられるよう働きかけをしたい。
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師による医療連携体制をしている。毎日のバイタルなど行ない、かかりつけ医と連携や受診に対して働きかけている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した時はソーシャルワーカーや担当者や情報交換を行ない家族の方にも早期退院に向けて協力をお願いしている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に向けた方針は契約時説明同意を得ているが、重度化した場合は家族、かかりつけ医、職員とで状況を判断し再三にわたり、その都度話し合い同意を求め、全員で方針を共有している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者が日々よりよく暮らせる為、できる事はどこまで維持、継続できるか、できなければどのように支援していくかを見極め、かかりつけ医と協力して行なっている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入院などにより退去する場合、家族及び本人に関するケア関係者間で話し合い、情報収集に努め共有する事でダメージを少なくし退居時の訪問を適宜行なっている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	2	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	2	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応は全職員がしないよう徹底している。記録などの個人情報は外に持ち出す事は禁止、鍵のかかる所に保管している。又、全職員に個人情報秘密保持誓約書などを交わしている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	外出、買物などの日々の活動において声かけをし、自己決定をしていただき参加されるよう働きかけ、表現できない方は今までの生活歴から見極め、できる事を支援、援助している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課は作成しているが、起床時間、食事時間等は本人のペースに合わせている。本人に自分から行動されるような声かけ、気持ち良く一日が過ごさせるように努めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	自分が好む洋服などを選ぶような配慮、又、好きな服を買う。個人に合わせている。ホームに理美容師を入れ、その方に合った髪型にしている。本人が希望される方は、家族の協力や送迎ありの理美容院を利用されている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備になるとほとんどの方が自分から参加され職員と一緒に準備し、同じ場所で同じ物を味の加減など会話をしながら軽音楽をかけ、食べている。時々外食などに出かけ一人ひとり好きなメニューを注文し、外の雰囲気味わってもらっている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	喫煙者はいないが誕生会、行事などお酒等を出すと満足される。おやつは朝は好みの飲み物の注文を聞いて飲んでいただき食べ物はずつくりお菓子などを週2回程度出している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげなく声かけトイレに誘導している。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	全員毎日入浴されることはないが、声かけをし、時間帯、長さは一人ひとりの希望やタイミングに合わせてゆっくり入浴していただいている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼間はその人の体調に合わせて、お昼寝をしてもらう方、又ほとんどリビングで職員と過ごすなど自由にしていただいている。就寝時間は、その方々まちまちでゆっくりリビングでテレビを見てくつるがれ、おひとりおひとり時間に合わせ誘導し、横になっていただいている。又、不安がられる方はしばらく添い寝など工夫している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	元気の良い方々は自分達から掃除、後片付け、料理の手伝い、洗濯干しと動かれている。又、天気の良い日は季節の花を見に出かけたり、外食、おやつなどを外に食べに出かけたり、ドライブなどを楽しまれている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお金を持っておられる方といない方とさまざまであるが外出された時は自分で好みの物を買ってもらったり、支払いなどは自分でしていただきさりげなく職員が配慮している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	雨以外は外へ散歩に出て行く事は毎日だが、利用者からの希望、又は職員からなど思いつきで外へドライブなどに出て行く事が多い。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	大勢の人達の集まる行事などに参加することは、利用者に対しよい刺激となる思いから(ドライブ、お祭りの参加、保育園の発表会)など、年1回は家族を交えてバスハイクへ高塚山参りをし、食事会を兼ねて交流を持ってもらうよう支援している。	0	
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時々電話をかけてもらうよう家族へ依頼したりして、会話など持ってもらおうよう努めている。	1	年賀状などのわかりやすい事をしていくようにしたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	いつでも面会は自由にしていただいている。又、来られた際は家族の方と気軽な会話ができるように努め、時にはホームの食事を利用者と一緒に食べてもらったりして理解してもらっている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	1	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修、勉強会などに積極的に参加する事で、身体拘束をしないケアを職員全体が周知し、徹底している。どうしても外へ出て行かれようとする場合には共に行動する。起立不可の方が立ち上がるうとされる時は、どうされたいのかを察知し、早めに行動を起こすことで事故の回避をしている。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯の意味もあり施錠しているが、昼間はまったく施錠していない。外に出られる方は一緒に行動している。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間一人で外に出られる事はないが、ホーム内で過ごされている時は職員同士声かけて所在確認をしている。夜は時間毎の訪室をしている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人が持ち込みの危険な物は様子を見るが、ほとんど部屋にあり、入居時、持ち物はすべて台帳に記入、係りの職員が定期的に確認している。又、ホームの物品については鍵のかかる場所で保管している。	0		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクマネジメントの研修などは参加している。当ホーム内でどこにリスクがあるかを職員一人一人が確認し、共有しあっているが事故、ヒヤリハットなどの報告の場合、職員が会議し再発防止に努力している。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ホーム独自の実施訓練を定期的に行なっている。又、消防署から消防、避難訓練、救急救命の研修なども年2回行なっている。	1	救急救命証を各自、職員は持っている。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急連絡網を作成、掲示し、各職員には緊急召集訓練等を行なっている。地域住民の支援もお願いして承知していただいている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個人個人に対して起こりうるリスクなどを家族にこまめに説明し、理解をしてもらっているが、少しでも危険がない様心がけている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルサインを行なうが、表情、動き、顔色など注意深く観察し異常を発見した場合は、状況に応じ安静を試みるか、医師の指示、往診を依頼し、職員は対応を共有するよう努めている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬などは個人別にセッティングしてあり誰もがわかるようにしてある。内服する際は1回分ずつ個人別に分けて名前の確認をし、出す時、利用者に内服してもらう時など3回は確認するよう徹底している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は理解している。散歩、水分補給、野菜を多く取るなど心がけている。下剤を服用されている方もあるがほとんど毎日排便があっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時はもちろん毎食後歯磨きなどをしていただいている。出来ない方は職員が誘導し介助している。定期的に歯科訪問にて検査をしている。	0	
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分などは一日の摂取量を記録している。その方の食べる量に応じ、食器に工夫している。自分で食べられない方は全介助でなく出来る様に時間をかけゆっくりと食べていただいている。	0	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	食事前の手洗い、除菌スプレーなどを利用している。又、外から帰ってくると必ず手洗いうがいなどは行なっている。感染症予防の研修参加、インフルエンザの予防注射を必ず行なっている。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所用品はこまめに洗い、除菌スプレー使用、夜間はハイタ-などに浸けこむようにしている。食材は地の物を購入し、ほとんど使い切っている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活の環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	普通の平屋建てで回りは塀がなく近隣の方の出入りしやすいようにし、玄関周りは花を植え、裏には小さな畑を作り、利用者の方と共に収穫している。	0	
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は決して広くないが、利用者の方々は部屋よりリビングで過ごす時間が多くいつも笑い声したり皆と歌をうたったりして過ごされ、外からの光はカーテンで遮光し利用者の方で作った物を飾っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間は広くないが利用者同士気の合った方達の配置をし職員が入る事で交流につながる支援をしている。一人になる場所はないが時間を考え自室へ誘導し、会話を持ったり、一人で過ごされる時間を作っている。	0		
		85	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に説明をし、本人の使い馴れた物を持参していただいている。部屋の整理整頓は定期的に係りの職員が行ない把握している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	昼間は窓の開閉はこまめに行ない、外気との差があまり生じない様に心がけている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、浴室、廊下、外回りなどその人に合わせ、部屋の中も手すりを設置している。ベットより転倒防止のためブザーなどを設置している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ、リビング、部屋などわかりやすいように明示し、特に自分の部屋がわからない方はリボンや大きな名前を書き、見やすい高さに設置している。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外へ出る時は、倉庫より椅子を出し建物の周りは花壇と小さいが畑を作っている為、外へ出て園芸をして楽しんだり、庭でおやつをして日向ぼっこをして楽しんでいる。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。